

第四回 市民会議 会議要旨

2007/02/24 「なごや循環型社会・しみん提案会議」実行委員会

日 時：平成 19 年 2 月 24 日（土）

13 時 30 分～16 時 45 分

会 場：伏見ライフプラザ 4 階 講堂

参加者：市民 24 名（欠席 9 名）



第四回会議は、シナリオについての補足説明やグループ討議を通してシナリオに対する理解を深め、自分の意見を整理することが目的です。

まずは、専門家が参考資料「シナリオの内容【概要版】」をもとに、それぞれのシナリオの相違点を中心にした説明をしました。そこで、全てのシナリオの目標は「循環型社会」であること、シナリオの左右は循環型社会を進める役割分担の違いを、上下はごみをどの段階からどの程度減らすかの違いを示す事を再確認しました。

左：行政が目標や計画をつくって提案し、「しみん」に実現を促す社会（B・C）

右：「しみん」が自主協定を作り、運動などから始まっていく社会（A・D）

上：製品が作られる段階からごみを減らすことを考える（発生抑制）（A・B）

下：ごみが家庭から排出された後の不要物を減らす（リサイクル重視）（C・D）

次に、前回会議でグループの意見を整理した時に出された質問について、全体で情報を共有したほうがよいものについての説明がありました（資料1）。

定量評価（それぞれの取り組みにかかる費用や環境負荷を算定すること）については、生ごみリサイクルの方法によってどのくらい環境負荷が違うか、各シナリオで設備費用や市民が直接負担するお金がどのくらいなのか等の説明がされました（資料2）

説明に対する質問：シナリオ B・C の二酸化炭素の排出量が少ない原因は？

回答⇒シナリオ A・D は生ごみをコンポストにしているのので、B・C より多い。

その後、グループ別に別紙1（黄色い紙。ステークホルダー会議で出てきた論点を質問形式で整理したもの）を使いながら、シナリオについて各自の意見交換をおこないました。また、グループ討議の前後で自分の意見がどのように変わったかを確認していただきました。



最後に全体で総括をおこないました。ここで、議論の時間が短いのでシナリオに対する意見がまとめられないというご意見をありましたので、次回会議を11時から始め、グループ討議の時間を作ることになりました。

次回は、グループ討議を踏まえてシナリオへの投票をおこないます。その後、選ばれたシナリオの修正案について議論する予定です。